

農 研 速 報

平成29年8月17日発行
茨城県農業総合センター農業研究所
〒311-4203 茨城県水戸市上国井町3402
TEL029-239-7212 FAX029-239-7306

麦の生育状況

地域名	麦種 (品種)	生育ステージ	対平成 遅速	生育(作柄・品質)概況等
水 戸	11月4日播種 小麦 (さとのそら)	収穫済	平成並 (1日遅い)	<p>気象概況:麦類の生育期間(過去5年間の平均値との比較、図1) 平均気温:11月(概ね播種から出芽期)はかなり低く、12月～3月(概ね小麦の出芽期から茎立期)はやや高く、4月(概ね小麦の茎立期から出穂期)はやや高く、5月～6月第4半旬(概ね小麦の出穂期から成熟期)は平成並だった。 降水量:11月は平成並であったが、11月第3半旬～第6半旬ではかなり多かった。12月～3月はかなり少なく、4月は平成並、5月～6月第4半旬は少なかった。 日照時間:11月は平成並で、12月～3月はかなり多く、4月はやや多く、5月～6月第4半旬は平成並だった。</p> <p>生育の概要(表1、図2) 平均気温は11月でかなり低かったが、12月～4月でやや高かったため、麦類の生育(主稈葉数・草丈・茎数)は概ね平成並に推移した。さとのそら晩播(11月18日播種)の3月中旬以降の茎数は、平成より多かった。出穂期および成熟期は、平成並～やや早かった。穂数は平成に比べ小麦で2～3割、六条大麦で1～2割多く、一穂粒数も平成に比べ1～2割多かったことから、粗子実重および整粒重はともにかなり重く、多収であった。千粒重はやや軽い傾向であったが、整粒歩合の大幅な低下は認められなかった。</p> <p>各麦の生育概要は次のとおりであった。 (11月4日播種) ●さとのそら 主稈葉数は平成並～多く推移した。草丈は12月～3月上旬は平成より長かったが、3月中旬以降は平成並だった。茎数は平成並に推移した。出穂期は平成より2日早く、成熟期は平成より1日遅かった。稈長は平成よりやや長かったが、倒伏は認められなかった。穂数および一穂当たり稈実粒数は平成よりかなり多く、粗子実重および整粒重(平成比128%)は平成よりかなり重く、多収であった。千粒重は平成より軽かったが、整粒歩合の大幅な低下は認められなかった。容積重は平成より重く、タンパク質含有率は平成よりやや高かった。検査等級は1等であった。</p> <p>●カシマムギ 主稈葉数は平成並に推移した。草丈は3月上旬で平成よりかなり長かったが、それ以外では平成並だった。茎数は平成並に推移した。出穂期は平成と同日で、成熟期は平成より2日早かった。稈長は平成並で、倒伏は認められなかった。穂数は平成よりやや多く、一穂当たり稈実粒数は平成より多く、粗子実重および整粒重(平成比145%)は平成よりかなり重く、多収であった。千粒重は平成よりやや軽かったが、整粒歩合は平成並だった。タンパク質含有率は平成並で、検査等級は1等であった。</p> <p>●カシマゴール 主稈葉数は平成並に推移した。草丈は3月上旬で平成より長かったが、それ以外では平成並だった。茎数は3月上旬で平成よりやや少なかったが、それ以外では平成並だった。出穂期は平成より1日早く、成熟期は平成より3日早かった。稈長は平成並で、倒伏は認められなかった。穂数は平成よりやや多く、一穂当たり稈実粒数は平成より多く、粗子実重および整粒重(平成比153%)は平成よりかなり重く、多収であった。千粒重は平成より軽かったが、整粒歩合は平成並だった。タンパク質含有率は平成並だった。検査等級は2等(落等要因は充実不足)であった。</p> <p>(11月18日播種) ●さとのそら 主稈葉数は平成並に推移した。草丈は2月中旬まではやや～かなり長く、3月は平成並で、4月上旬はやや短かった。茎数は3月中旬までは平成並で、3月下旬以降はやや～かなり多かった。出穂期は平成より3日早く、成熟期は平成と同日だった。稈長は平成よりやや長かったが、倒伏は認められなかった。穂数および一穂当たり稈実粒数は平成よりかなり多く、粗子実重および整粒重(平成比125%)は平成よりかなり重く、多収であった。千粒重は平成並で、整粒歩合の大幅な低下は認められなかった。容積重は平成より重く、タンパク質含有率は平成より高かった。検査等級は1等であった。</p>
	六条大麦 (カシマムギ)	収穫済	平成並 (2日早い)	
	(カシマゴール)	収穫済	やや早 (3日早い)	
	11月18日播種 小麦 (さとのそら)	収穫済	平成並 (同日)	
			※対平成遅速は、成熟期を基に表記した。	

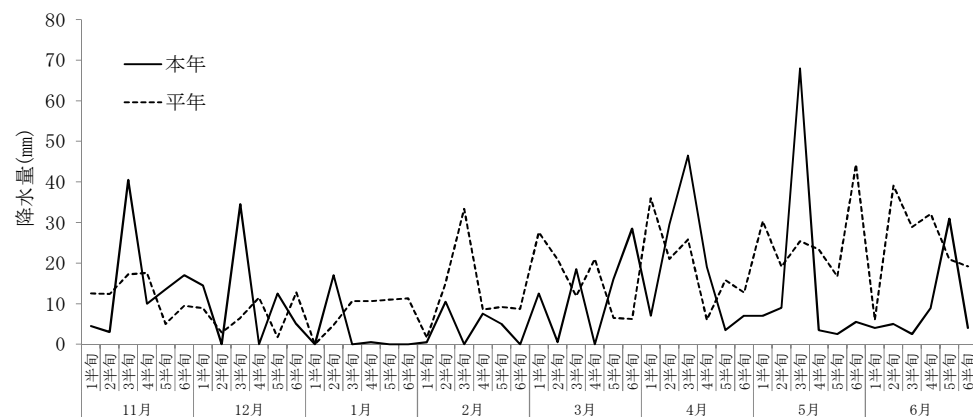
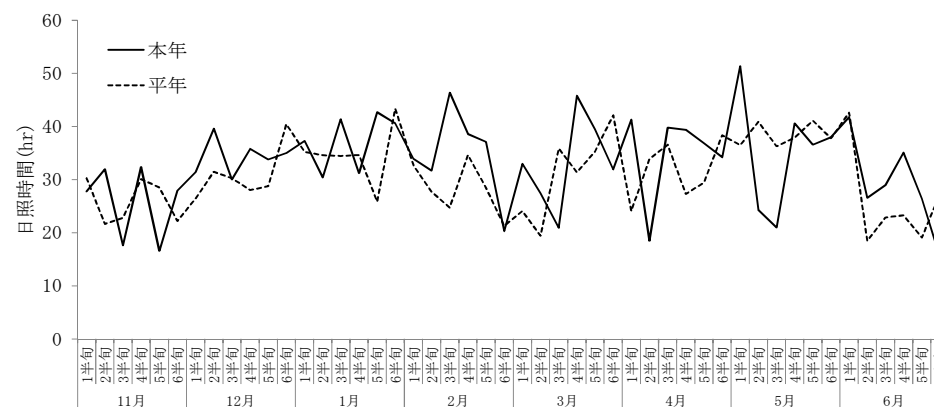
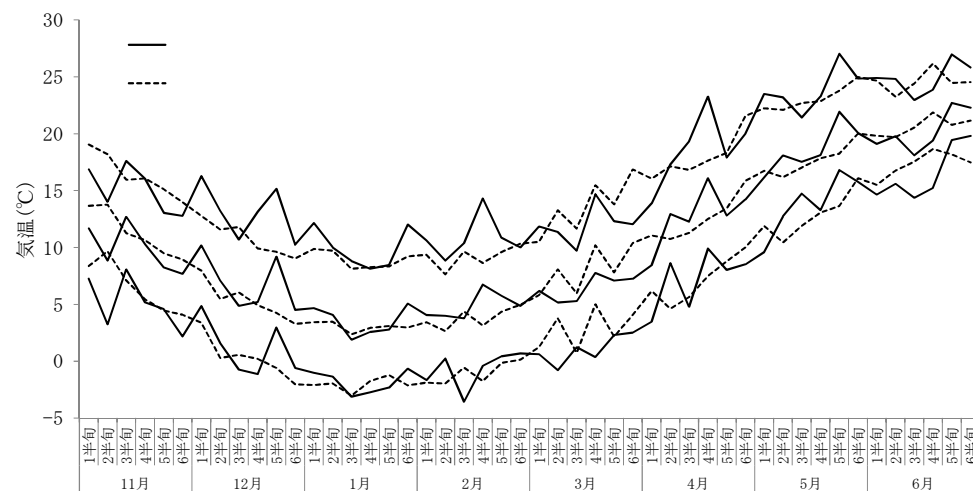


図1 平成28～29年半旬別気象経過図
(水戸地方気象台データを参考に作成。平年値は直近5年間の平均値。)

表1 畑における生育(水戸市 茨城県農総セ農研 作物研究室)

播種期 (月・日)	麦種	品種名	出穂期			成熟期			登熟日数			稈 長			穂 長			穂 数		
			本 年 (月・日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本 年 (月・日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本 年 (日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本 年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (本/m ²)	前年比 (%)	平年比 (%)
11.4	小麦	さとのそら	4.21	6	-2	6.10	7	1	50	1	3	89.4	93	104	8.9	96	105	890	109	121
	六条大麦	カシマムギ	4.16	7	0	5.25	1	-2	39	-6	-1	89.4	94	103	4.5	107	102	642	99	115
		カシマゴール	4.13	6	-1	5.24	1	-3	41	-5	-2	90.1	93	104	4.2	111	105	752	90	113
11.18	小麦	さとのそら	4.24	5	-3	6.12	5	0	49	0	3	84.3	90	104	8.6	93	101	845	96	129

播種期 (月・日)	麦種	品種名	倒伏程度			一穂当たり稈実粒数			不稈率			粗子実重			整粒重			整粒歩合		
			本 年	前 年	平 年	本 年 (粒)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (%)	前 年 (%)	平 年 (%)	本 年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (%)	前 年 (%)	平 年 (%)
11.4	小麦	さとのそら	0.0	0.0	0.0	30	118	117	42	42	38	70.8	107	131	68.7	104	128	97	99	99
	六条大麦	カシマムギ	0.0	5.0	1.5	55	100	113	15	14	17	80.9	120	143	70.7	182	145	87	57	88
		カシマゴール	0.0	5.0	1.0	50	110	114	14	16	16	89.2	138	150	73.8	300	153	83	38	82
11.18	小麦	さとのそら	0.0	0.0	0.0	33	125	120	40	33	37	67.2	95	126	65.6	93	125	98	99	99

播種期 (月・日)	麦種	品種名	千粒重			容積重			タンパク質含有率			外観品質			検査等級		
			本 年 (g)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (g/L)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (%)	前 年 (%)	平 年 (%)	本 年	前 年	平 年	本 年	前 年	前々年
11.4	小麦	さとのそら	37.7	90	93	841	100	102	12.0	10.9	11.4	5.0	5.5	5.6	1	1	2
	六条大麦	カシマムギ	30.0	108	94	714	100	101	10.6	11.1	10.5	5.0	6.0	5.5	1	1	1
		カシマゴール	29.6	100	95	717	101	99	10.3	11.1	10.2	6.0	6.0	5.5	2	1	1
11.18	小麦	さとのそら	38.1	92	99	836	99	101	11.8	11.6	11.2	5.0	6.0	5.4	1	1	1～2

播種期 (月・日)	麦種	品種名	本年 粒厚分布(重量%)							平年 粒厚分布(重量%)						
			2.8mm 以上	2.8～ 2.5	2.5～ 2.4	2.4～ 2.3	2.3～ 2.2	2.2～ 2.0	2.0mm 以下	2.8mm 以上	2.8～ 2.5	2.5～ 2.4	2.4～ 2.3	2.3～ 2.2	2.2～ 2.0	2.0mm 以下
11.4	小麦	さとのそら	50.6	37.7	6.7	2.1	2.1	0.8	0.1	61.1	30.6	6.2	1.4	0.4	0.3	0.1
	六条大麦	カシマムギ	1.7	34.8	24.5	16.9	9.3	10.1	2.6	6.3	32.8	28.4	13.1	6.9	9.0	3.5
		カシマゴール	0.6	22.0	22.4	23.5	14.2	13.4	3.9	2.9	22.7	30.6	16.8	8.5	12.3	6.3
11.18	小麦	さとのそら	49.3	39.9	6.5	2.0	1.1	0.9	0.2	54.4	33.8	8.6	1.9	0.6	0.6	0.1

注) 1) 圃場(来歴): 表層腐植質黒ボク土(前作休耕)

3) 施肥量: N-P₂O₅-K₂O=0.6-0.8-0.7kg/a

5) 平年値: 平成23～27年播種の結果の平均。

7) 倒伏程度: 0(無)～5(甚)の6段階

9) 千粒重・容積重・タンパク質含有率はグレーダー調製後の整粒で計測した。

11) タンパク質含有率は近赤外線成分分析機(インフラテック1241型)による。水分13.5%換算。

13) 検査等級: JA全農いばらき米穀部による。1:1等、2:2等、外:等外

2) 播種量: 0.8kg/a

4) 播種様式: 畦幅30cm、シーダーテープ播種

6) 麦踏み: 12月9日(11月4日播種のみ)、1月5日、2月2日、2月24日

8) 整粒重: 小麦は2.3mm、六条大麦は2.2mmの篩上の子実重。

10) 整粒重・千粒重は、小麦が水分12.5%、六条大麦が水分13.0%に換算した。

12) 外観品質: 1(上の上)～9(下の下)

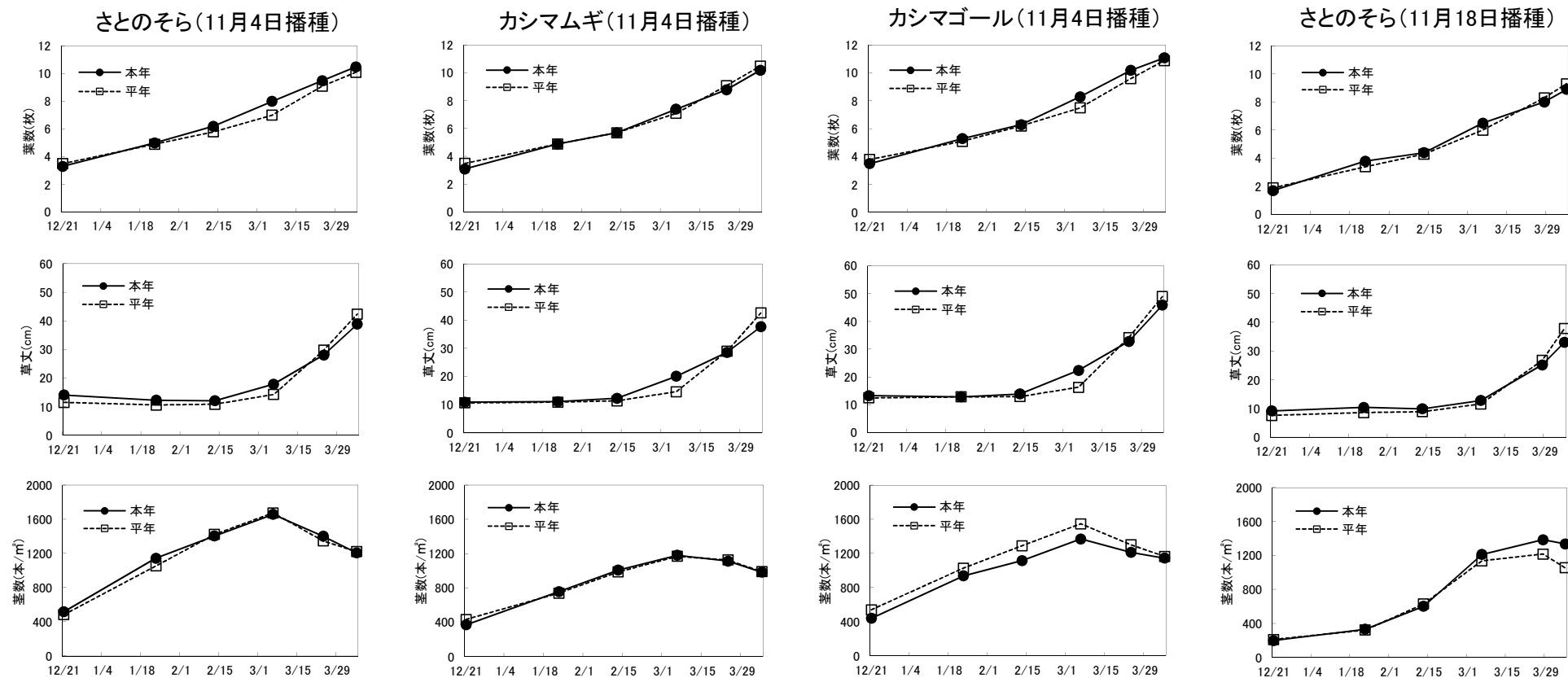


図2 葉数・草丈・茎数の推移

気象概況および生育状況における表現について

平年値(過去5年間の平均値)との違いの程度を、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」等の階級区分で表しています。
各階級の幅は、下図のように、統計期間における出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めています。
さらに、「低い(少ない)」、「高い(多い)」については、補足的表現として下図に示す出現率となるように「やや」、「かなり」と表しています。

